

(1) 報告事項

① 報告第1号

令和5年度事業報告について

1 地域との関わりを増やす取組

◆久留里線×沿線イベント等とのコラボレーションの実施

【概要】

久留里線の利用及び地域への再来を促進する目的として、令和6年3月3日(日)に開催された久留里新酒まつりにおいて、当日の久留里線利用者に対し、後日久留里線で再来すると有効となるクーポン券を配布した。

- ・配布数：500冊（1冊：200円引き券×3枚）
- ・対象期間：3月5日(火)～3月24日(日)
- ・対象店舗：生きた水久留里 酒ミュージアム

(実績) クーポン券利用15枚



また、J R久留里線活性化協議会の法被やのぼり旗を作成し、イベントにおいて使用することで当協議会のアピールを行った。

◆久留里線乗り方教室の実施

【概要】

12月17日(日)に木更津市・君津市・袖ヶ浦市の小学生とその保護者を対象とした久留里線乗り方教室を開催し、久留里線に対する親しみの醸成を図った。

- ・J R東日本社員のよる座学授業
運転士・車掌のお仕事の紹介や鉄道の乗車マナーなど
- ・木更津駅の見学
みどりの窓口や乗車券券売機などの見学、駅構内アナウンス体験
- ・木更津駅～東清川駅間の往復乗車体験

無人駅である東清川駅での降車時の切符の受渡しや、同駅で乗車する際の乗車駅
証明書の発券などを実際に体験し、久留里線の乗り方を学習

(実績) 参加者 14組 28名

(参加者の声)

- ・ 普段見聞きできない深い部分まで学習ができ、満足な内容でした。これを機に、
家族で久留里線に乗ってお出かけする計画を立てることになりました。
- ・ 久留里線に興味を持ったり、周辺に何があるのか調べたりするきっかけになると
思います。



(座学授業)



(アナウンス体験)



(東清川駅)

◆待ち時間の充実の検討

【概要】

久留里線利用時の待ち時間を充実させる取組について、各駅において待ち時間を充実させるための取りうる手段を検討し、できることから実施していくこととした。

令和5年9月1日、自習・コワーキング・休憩での利用など、誰でも自由に過ごすことができる施設として、木更津駅東口に「駅の図書室FLAT」がオープンし、協議会のX(旧Twitter)公式アカウントで情報発信を行った。しかしながら、運営団体との連携した取組には至らなかったことから、今後、沿線の団体等と連携した取組を検討していく。

◆ノーマイカーデーの推奨

【概要】

公共交通の利用を推奨するなかで、久留里線の利用促進に向けた啓発・PRを行うこととした。

市の広報誌で公共交通の利用を呼びかけたほか、職員向けエコ通勤の取組(木更津市)においても公共交通の積極的な利用を呼びかけた。今後も久留里線の日常利用を促進する取組を検討していく。

◆久留里線活性化プロジェクト実行委員会との協働

【概要】

久留里線活性化プロジェクト実行委員会とともに活性化施策に取り組むことにより、沿線住民等の久留里線参画意識を醸成した。

●花いっぱいプロジェクト

- ・中富ふれあいの会：6月10日（土）、10月29日（日）
- ・袖ヶ浦市花咲か委員会：5月26日（金）、11月21日（火）ほか



（東横田駅 中富ふれあいの会）



（東横田駅 袖ヶ浦市花咲か委員会）

●J R久留里線キーワードラリーの実施

- ・実施期間：令和5年11月11日（土）～
12月10日（日） 計30日間
- ・実績：キーワード帳配布数 253枚
参加賞配布数 217個

（参加者の声）

- ・房総の魅力を知ることができました。
- ・子どもと一緒にキーワードを探し、いい時間を過ごせました。
- ・キーワードラリーをきっかけに充実したワンデイトリップを楽しめました。
- ・すごく楽しかった。これからもずっとイベントを続けてほしい。 など



（キーワードパネルの設置）

2 地域外との関わりを増やす取組

◆久留里線沿線回遊プロジェクト

【概要】

既存のレンタサイクルを周知するとともに、駅からの二次交通として、自転車での散策の楽しみ方をPRすることを目的に、サイクリスト向けの動画と、サイクル初心者及びファミリー向けの動画の2本を作成した。久留里線沿線の魅力発信ツールとして活用していく。

◆協議会 Twitter プレゼントキャンペーン

【概要】

協議会の Twitter（現：X）公式アカウント「JR久留里線活性化協議会@kurukakyo」をフォローし、投稿キャンペーンツイートをリツイートした方から抽選で12名に、久留里沿線3市の「イチオシ特産品」を贈呈。フォロワー数の増加による発信力の拡大と地元特産品のPRを行った。キャンペーン後もフォロワー数の獲得と沿線地域の魅力発信に向け、地域のイベントやおすすめ情報について、定期的に発信を行った。

（実施期間）令和5年5月26日（金）～7月3日（月）

（実績）キャンペーン参加者 1,408名

キャンペーンによるフォロワー増加数 計493名

インプレッション数（※）計33,206回

（※）インプレッション数：利用者のタイムラインまたは検索結果にツイートが表示された回数



（君津市賞）



（木更津市賞）



（袖ヶ浦市賞）

◆協議会グッズ及びチラシの作成・配布

【概要】

沿線の地域イベントに久留里線を利用して来てもらうために、Twitter（現：X）において協議会グッズの配布を事前に広報し、当日久留里線利用者に対して配布

することで、久留里線での来訪促進を図った。また、協議会を周知するためのうちわを作成し、奥房総キャラバンの際に配布した。

(配布先) ええもんいち (4月23日、11月26日)、久留里夏祭り (7月16日)、
奥房総キャラバン (9月21、22日、11月10日)、
乗り方教室 (12月17日)、駅からハイキング (2月28日～3月3日)

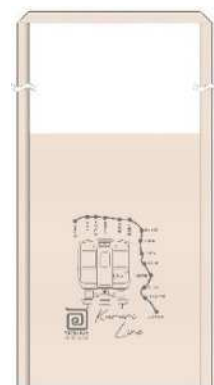
(配布数) グッズ340個、周知用うちわ300枚



缶バッチ



(ミニハンカチ)



(サコッシュ)



(うちわ)